



くすりの富山県

PHARMACEUTICAL INDUSTRY IN TOYAMA

富山県の概要と特徴

富山県は本州の日本海側中央部に位置し、東京、大阪、名古屋の3大都市圏から各々 270キロ以内のところにあり、交通網も整備されています。また、平成27年3月に北陸新幹線が開通し、東京・富山間が最短2時間8分で結ばれ、未来に向けてますます人や文化の交流、物流の活性化が期待されます。

■富山県データ

面積：4,248km² 人口：100万人（R6.3現在）

位置：北緯36度16分～36度59分

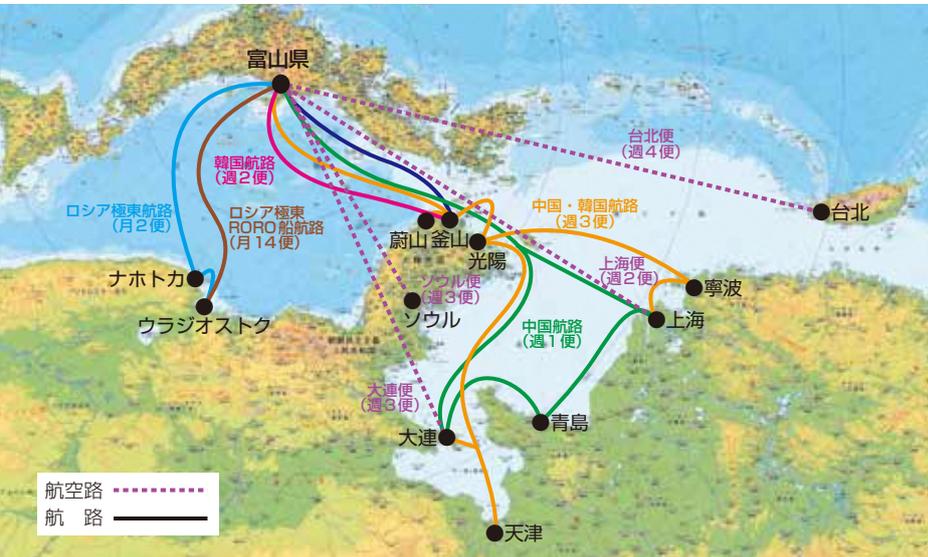
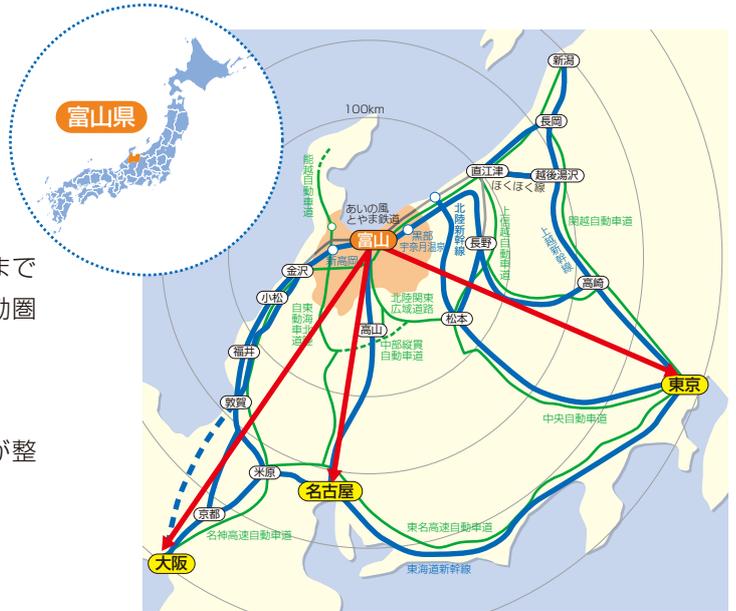
東経136度46分～137度46分

■高い人口集積

富山県は人口の大部分が平野部に集積し、県内の隅々まで公共交通機関、道路が整備されているため、30分の通勤圏内に50万人程度の人口集積があります。

■県内を網羅する交通網

JR線、あいの風とやま鉄道、地鉄、路面電車の鉄道が整備され、県内各地を結んでいます。



環日本海・東アジア諸国図（通称「逆さ地図」）

環日本海交流の拠点

日本海を取り巻く地域は「環日本海交流圏」を構成しています。本県は環日本海交流の拠点として、富山空港や伏木富山港から、対岸諸国への航空路、航路が整備されています。

富山きときと空港

富山市中心部から車で約15分の至近距離に位置し、地方空港としては、全国でトップクラスの国際定期路線を備えています。

伏木富山港

伏木富山港は富山新港、富山港、伏木港の3つの港で形成され、環日本海交流の中核を担う国際貿易港として重要な役割を担っています。



富山新港

■航空路・航路データ

①航空路線	富山 → ソウル	: 3便/週	1時間50分
	富山 → 大連	: 3便/週	2時間15分
	富山 → 上海	: 2便/週	2時間20分
	富山 → 台北	: 4便/週	2時間55分

※国際定期便の運航スケジュールは予告なしに変更される場合がありますので、詳細は各航空会社にお問い合わせください。

②航路	中国航路（富山 → 大連、青島、上海）	: 1便/週
	韓国航路（富山 → 釜山）	: 2便/週
	中国・韓国航路（富山 → 釜山、大連等）	: 3便/週
	ロシア極東航路（富山 → ナホトカ、ウラジオストク）	: 2便/月
	ロシア極東RORO船航路（富山 → ウラジオストク）	: 14便/月

雨晴海岸から見た立山連峰
海越しに3,000m級の山々を
望むことができます。



称名滝
立山連峰の水を集め、
落差350mは日本一を誇ります。

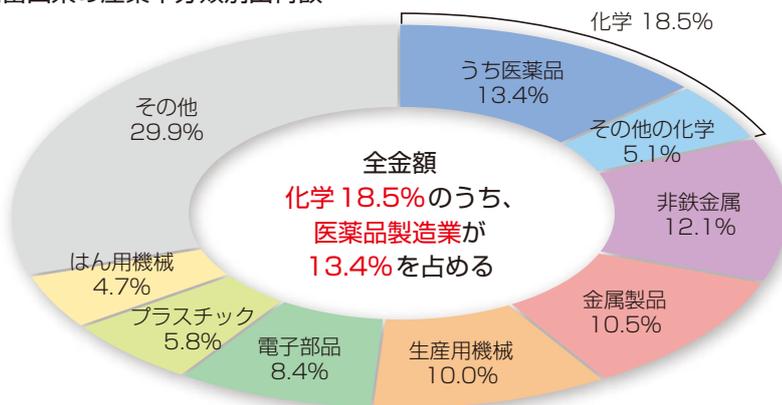
美しく豊かな自然環境

本県は、立山連峰など標高3,000m級の山岳地帯から、水深1,000mを超える富山湾まで、変化に富んだ自然を有しています。また、植生自然度が全国3位、自然公園の面積比率も全国6位で、良質で豊富な水や新鮮で美味しい食材がとれ、豊かな自然に恵まれています。

日本海側屈指の工業集積

豊かな水資源と低廉な電力を活用し、重化学工業が発展しており、近年では電子部品やデバイスなどの電子産業が伸び、日本海側屈指の工業集積県となっています。

■富山県の産業中分類別出荷額



出典：令和4年経済構造実態調査 製造業事業所調査（富山県分抜粋）を基に作成

優れた技術の例

- ・自動車製造用産業ロボット
- ・癒し系ロボット
- ・超大型樹脂成形システム
- ・医薬品の特殊製剤技術
(経皮吸収製剤、経鼻・経肺製剤等)

バラエティーに富んだ製造業

電子部品、デバイス、一般機械、
金属製品（アルミ、銅器等）
化学工業（医薬品等）

■富山県の医薬品産業

富山県の医薬品産業は江戸時代中期から300年以上の歴史を有する本県の代表的な伝統産業です。薬業資本により銀行や電力会社が創られ、本県産業の近代化に大きく貢献しました。

現代においては、最先端の工場も多数立地するなど、国内有数の医薬品製造拠点となっています。

医薬品製造業の集積

富山県の医薬品製造業は、新しい技術による医薬品の開発や品質の向上に積極的に取り組んでおり、医療用をはじめ、一般用、配置用の医薬品を国内外に供給しています。

医薬品の生産拠点としての高い評価

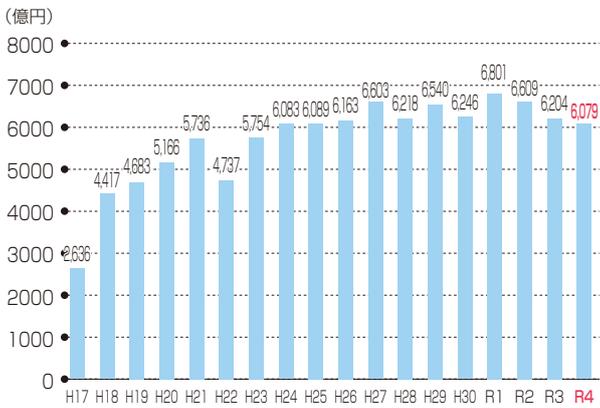
県内には新薬開発型メーカー、ジェネリックメーカー、大衆薬メーカー、配置薬メーカーなど、メーカー約80社と100を超える製造所の集積があります。中でもパップ剤や軟膏剤、目薬などの特殊製剤については高い製造技術を有しています。

また、包装容器、パッケージ、印刷等の周辺産業も充実しているほか、医薬品GMP対応の保管施設も多数あり、医薬品の生産拠点として高い評価を得ています。



優れた製造設備による医薬品製造

■富山県医薬品生産金額



出典：薬事工業生産動態統計調査を基に作成

富山県医薬品生産金額の推移

本県の医薬品製造業は最新の設備を有しており、厳しい製造・品質管理基準に基づき、品質が確保された医薬品を製造しています。

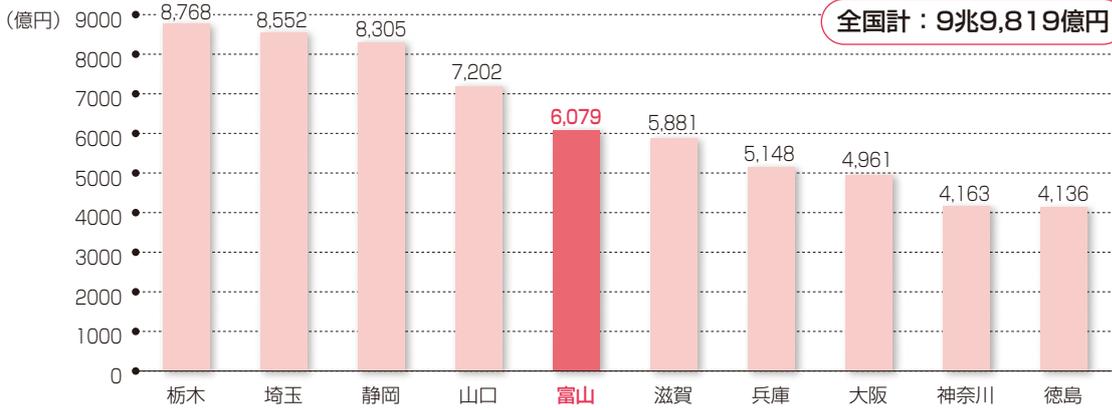
平成17年4月の薬事法改正により、医薬品製造業のアウトソーシングが完全自由化されたことを受け、県内の製造所では積極的な設備投資を行い受託生産を拡大した結果、本県医薬品生産金額は飛躍的に増加しています。



全国でトップクラスの地位を誇る「富山のくすり」

富山県の令和4年の医薬品生産金額は6,079億円となりました。また、人口あたりの医薬品生産金額、製造所数、製造所従業者数は全国第1位となっており、本県は「くすりの富山」として全国に知られています。

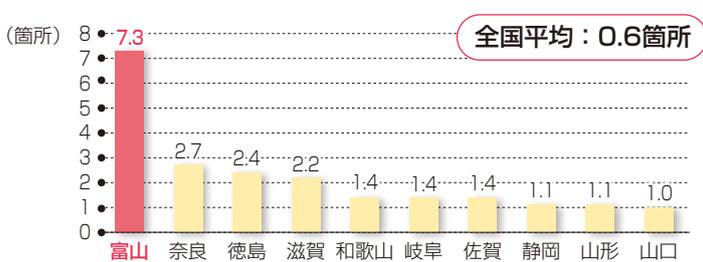
■主要都道府県別医薬品生産金額 (令和4年)※1



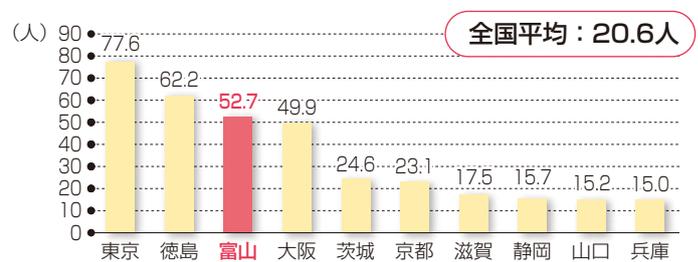
■主要都道府県別医薬品生産金額 (人口1人あたり・令和4年)※2



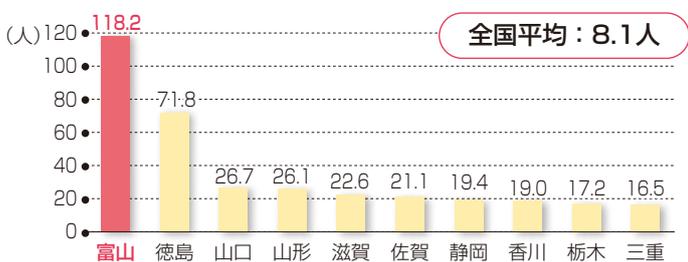
■医薬品製造所数 (人口10万人あたり・令和4年)※3



■製薬企業勤務薬剤師数 (人口10万人あたり・令和4年)※5



■医薬品製造所従業者数 (人口1万人あたり・令和4年)※4



※1 令和4年 薬事工業生産動態統計調査を基に作成
 ※2 令和4年 薬事工業生産動態統計調査と人口推計を基に作成
 ※3・4 令和4年 経済構造実態調査 製造業事業所調査(富山県分抜粋)と人口推計を基に作成
 ※5 令和4年 医師・歯科医師・薬剤師統計を基に作成

充実した研究・教育機関 ～産学官連携による研究開発・人材育成等の推進～

富山県では公的研究機関による研究・開発体制の充実を図り、産学官が一体となった創薬・育薬研究の振興に取り組んでいます。

富山県薬事総合研究開発センター

県薬事総合研究開発センターでは、都道府県立で全国唯一の薬事専門の研究機関として、医薬品の研究開発や試験、分析、企業への技術指導等を行っています。また、大学生等に対する技術実習を実施するなど、医薬品産業を支える人材育成にも積極的に取り組んでいます。



富山県薬事総合研究開発センター

■創薬研究開発センター

高度な分析機器等を整備するとともに、企業や大学等を対象とした相談室や研修用の会議室も整備しており、バイオ医薬品等の付加価値の高い製品の研究開発を促進するため、技術開発や人材育成を積極的に支援することとしています。



創薬研究開発センター

■製剤開発支援センター

製剤機械や試験機器等を整備し、企業等による製剤開発を支援しています。また、大学生等に対する技術実習に活用するなど、人材育成にも取り組んでいます。



製剤開発支援センター

■薬用植物指導センター

医薬品の原料となる薬用植物の栽培普及等を図るため、新研修棟等を整備し、平成31年4月から供用開始しました。薬用植物栽培技術の確立、栽培普及指導、薬草の知識普及等に努めています。



薬用植物指導センター

■富山県の薬業関係行政機構及び教育・研究機関の体系図



創薬研究の総合拠点

■富山大学

富山大学は、医学、薬学部など9学部に、和漢医薬学総合研究所や大学附属病院を擁する、日本海側有数の基幹的な総合大学です。令和4年度から大学院に「医薬理工学環」を新設する等、幅広い分野の専門家の養成にも取り組んでいます。



富山大学和漢医薬学総合研究所（杉谷キャンパス）

ものづくり研究の拠点

■富山県立大学

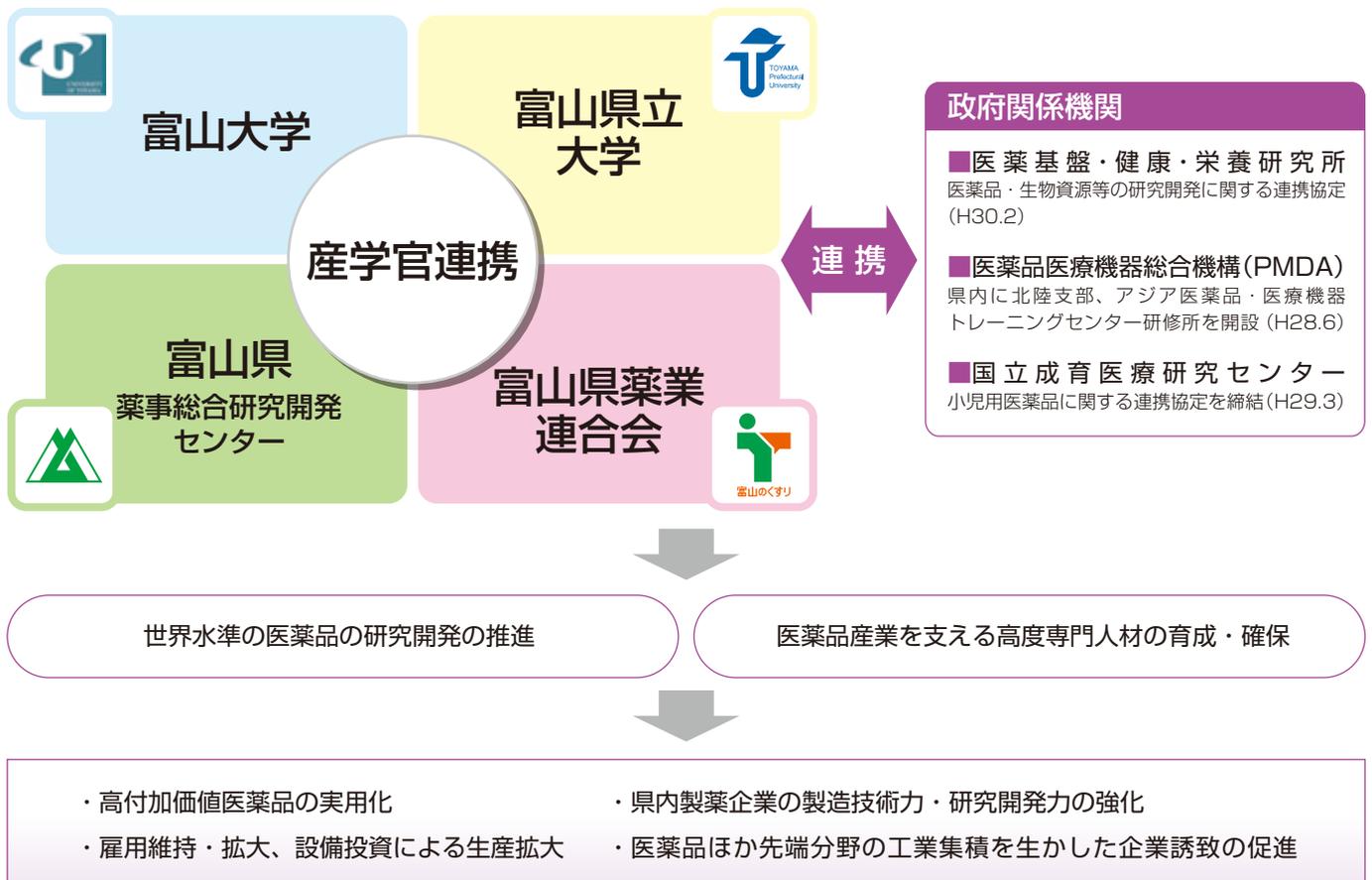
富山県立大学は、平成29年4月に全国で初めて医薬品工学科を設置し、医薬品産業を工学の観点から支える人材育成に取り組んでいます。また、生物工学科ではバイオ等の教育研究体制の強化も行っています。



富山県立大学（射水キャンパス）

「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアム

「くすりのシリコンバレー TOYAMA」創造コンソーシアムでは、県内の大学や富山県の中核的な産業である医薬品産業のさらなる発展を図るため、県内産学官が密接に連携し、医薬品分野における研究開発や専門人材育成等に取り組んでいます。



300年以上の歴史と伝統を持つ「富山のくすり」

富山県が生んだ配置薬業は300年以上の歴史と伝統を有し、現在まで重要な産業として発展してきました。「富山のくすり」は、本県配置従事者の手で、信頼とともに全国に届けられています。

「富山のくすり」の歴史と伝統

一般的に、本県配置薬業の起源は、江戸時代の第2代富山藩主、前田正甫まえだ まさとしの功績として伝えられ、1683年に岡山県の医師、万代常閑まんだいじょうかんから「反魂丹」はんこんたんの処方を受授されたとされています。そして、1690年、江戸城内で腹痛を起こした大名に、正甫公が「反魂丹」を与えたところ、すぐに治ったことから、これを見た諸藩主から「反魂丹」を売り広めるよう頼まれました。これが富山の配置薬業の始まりとされます。

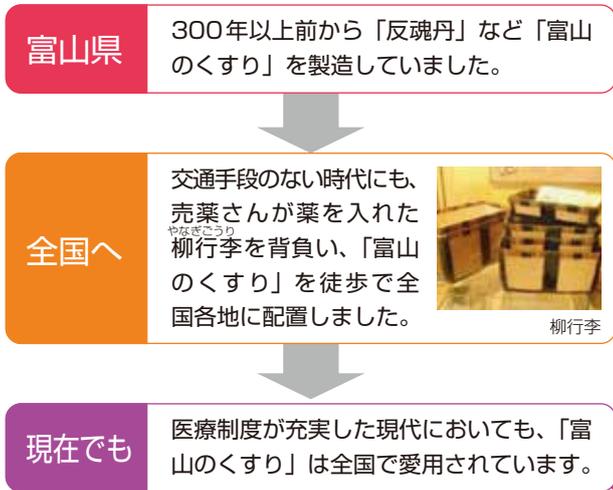
■配置用医薬品生産金額（令和4年）



令和4年における全国の配置用医薬品生産金額は21.9億円であり、富山県は11億円と、全国生産の約5割を占めています。

出典：令和4年 薬事工業生産動態統計調査を基に作成

■全国に展開した「富山のくすり」



柳行李

娯楽が無い時代には、売薬版画や紙風船をお土産として持っていき、人々との信頼関係構築に努めました。



紙風船
売薬版画



配置箱

配置箱には、かぜ薬や胃腸薬、点眼薬など、よく使用される医薬品が配置されています。



配置販売システムとは

- ①最初に配置販売業者が各家庭を訪問します。
- ②「配置箱」に医薬品を入れ、家庭の常備薬として預けます。
- ③消費者は必要な時に必要な医薬品を使用します。
- ④その後、配置販売業者が一定期間ごとに家庭を訪問し、どれだけの医薬品が使用されたかを調べ、同時に、医薬品の補充を行います。
- ⑤最後に、使用された医薬品の代金を請求します。



得意先との親しい会話が大切



「消費者に先に使用してもらい、使った分だけ、後で代金をいただく」という独特の販売形態を「せんようこうり先用後利」といいます。本県薬業はこの考え方を大切にして、発展してきました。

家庭だけでなく、事務所でも配置箱は活躍しています。

明日の「富山のくすり」を担う人材育成

富山県では薬業に携わる人材育成を図るため、早くから薬業教育に力を入れてきました。

約300年前には行商に必要な知識を学ぶための寺子屋が普及し、約100年前には薬学校（現在の富山大学）が創設されました。現在は、県立の高校にも薬業専攻科があるなど、これからの「富山のくすり」を担う人材を育成しています。

■地域ブランド「富山のくすり」

300年の歴史と伝統を持つ「富山のくすり」は本県を代表する地域ブランドです。

（一社）富山県薬業連合会が特許庁に申請していた団体商標「富山のくすり」が、平成19年7月に、正式に登録査定を受けました。

これにより「富山のくすり」は全国的な知名度を有するものとして認定されました。

団体商標「富山のくすり」ロゴ・シンボルマーク



<シンボルマーク>

富山の売薬さんは300年以上前から、全国に「安心」を運んでいました。

その「安心」のシンボルである売薬さんのシルエットにも見え、富山のアルファベットの頭文字「T」にも見えるシンボルマークで、「安心ある富山のくすり」を表します。

<カラーの配色>

緑色は本県の魅力である「雄大な自然」、オレンジ色は「安心・暖かみ」をイメージさせます。

県内薬業関連資料館・施設のご案内

富山県には、多くの薬業関連施設が存在します。本県配置薬業の歴史と伝統を見ることができ、「薬都・とやま」のルーツを探ることができます。

氷見市
氷見漁港
雨晴海岸
海王丸パーク
高岡大仏
瑞龍寺
射水市
高岡市
小矢部市
砺波市
砺波チューリップ公園
富山きときと空港
富山市
八尾（おわら風の盆）
南砺市
五箇山

入善町
朝日町
黒部市
宇奈月温泉
黒部峡谷
魚津市
滑川市
舟橋村
立山町
上市町
立山黒部アルペンルート
黒部ダム

富山湾
JR富山駅
富山城址公園
1
2
3
4

瑞龍寺（高岡市）
ホタルイカ（富山湾）
「富山のくすりやさん」シンボルモニュメント（富山駅南口交通広場内）
五箇山相倉（南砺市）
おわら風の盆（富山市八尾）
第2代富山藩主前田正甫公像（富山城址公園内）
剱岳（立山連峰）

「富山のくすり」ユニークなデザイン

配置用医薬品のパッケージには、ユニークなデザインがほどこされています。



① 富山県薬事総合研究開発センター薬用植物指導センター

シャクヤク園、ハーブ園、ポタン園などで、多くの薬用植物を見ることができます。

- 住 所** 中新川郡上市町広野2732
T E L 076-472-0801
交 通 地鉄上市駅下車、車10分
開館時間 月曜日～金曜日（平日）9：00～17：00
休 館 日 ※団体で見学される場合は、事前に連絡して下さい。



② 富山県民会館分館 金岡邸

金岡邸には300年の歴史を持つ富山売薬業に関する資料が展示されています。母屋部分は明治初期の商屋で、薬種商店舗の遺構をとどめています。

- 住 所** 富山市新庄町1丁目5番24号
T E L 076-433-1684
交 通 地鉄東新庄駅下車徒歩5分
開館時間 9：30～17：00
休 館 日 毎週火曜日及び年末年始



③ 富山市売薬資料館

資料館の展示室には行商用具や、製薬に使われた道具、売薬版画等の土産品など、富山売薬の歴史を伝える様々な資料が展示されています。

- 住 所** 富山市安養坊980
T E L 076-433-2866
交 通 地鉄バス 呉羽老人センター行、富山市民俗民芸村下車すぐ
または新桜谷行、安養坊下車徒歩5分
開館時間 9：00～17：00（入館は16：30まで）
休 館 日 年末年始（12月28日～1月4日）



④ 滑川市立博物館

滑川は、富山県内でも売薬の盛んな地域であり、各種の薬業資料が展示されています。

- 住 所** 滑川市開676
T E L 076-474-9200
交 通 あいの風とやま鉄道滑川駅下車、車15分
開館時間 10：00～18：00（入館は17：30まで）
休 館 日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、祝日の翌日、
年末年始（12月29日～1月3日）



■ 薬業関係HPのURL

- ・ 富山県 <https://www.pref.toyama.jp/>
- ・ 富山県薬事総合研究開発センター <https://www.pref.toyama.jp/1285/kurashi/kenkou/iryuu/1285/index.html>
- ・ 富山県立富山北部高校 <https://www.tomihoku-h.tym.ed.jp/>
- ・ 富山県立滑川高校 <https://www.namerikawa-h.tym.ed.jp/>
- ・ とやまの和漢薬情報（富山市） https://www.city.toyama.toyama.jp/etc/wakanyaku/s_kusuri.html
- ・ 富山大学 <https://www.u-toyama.ac.jp/>
- ・ 富山県立大学 <https://www.pu-toyama.ac.jp/>
- ・ 富山県薬業連合会（富山のくすり） <https://www.toyama-kusuri.jp/ja/>
- ・ 「くすりのシリコンバレー TOYAMA」 創造コンソーシアム <https://www.kusuri-consortium.jp/>



富山のくすりイメージキャラクター
くすりん